

地域密着型金融の進捗状況

(期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日)

但馬信用金庫

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 創業・新規事業開拓

項目	件数
当金庫が関与した創業件数	23件
当金庫が関与した第二創業件数	5件

創業・新規事業開拓について、お客さまの創業負担を軽くするため、補助金情報を随時発信し、お客さまへの情報提供をおこなった。また創業期の事業者の情報発信や、地域の事業者との交流を図るため、5月19日、11月14日に豊岡で、12月8日に福知山で地域クラウド交流会を開催した。融資以外の資金供給方法として、(一財)民間都市開発推進機構と共同出資した城崎まちづくりファンド有限責任組合を活用し、城崎の創業を支援した。

(2) 成長段階における更なる飛躍

項目	件数・金額等
本業(企業価値の向上)支援先数(情報提供含む)	905先 (前年519先)
うち販路開拓支援を行った先数(成約数)	135先 (前年109先)
うち中小企業に対する経営人材・経営サポート人材・専門人材の紹介数(成約数)	11人 (前年20人)
うち外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数(成約数)	22先 (前年13先)
コベナンツを設定した無担保当貸(平成30年3月末現在)	45件 (極度額合計3,875百万円)
経営者保証を付さない融資取組(期中実績)	322件

ビジネスマッチングについては、兵庫県信用金庫協会の川上川下ビジネスネットワーク事業・信金中央金庫のビジネスマッチングに加え、当金庫顧客同士のビジネスマッチングも推進し、販路開拓支援件数は飛躍的に増加している。更に事業支援部地域創生課に配属しているアパレル出身の職員の働きにより、靴業界のマッチングも広がった。また様々な業者との連携も行い、人材のマッチング、外部専門家とのマッチング等活用を進めている。財務制限条項(コベナンツ)を付した無担保当貸は、商品として定着しており、安定した契約数を確保し、決算の都度、業績を確認しコベナンツ条項の達成状況を確認する態勢を構築できている。経営者保証を付さない融資取組については、チェックリストに基づき、経営者保証の必要性や保証金額の妥当性の検討を行う態勢を構築している。

(3) 経営改善・事業承継等

項目	件数・金額等
事業再生支援先における実抜計画策定先数	19先
金融機関がメインバンクとして取引を行っている企業のうち、経営指標の改善(売上高、経常利益)や就業者数の増加が見られた先数(グループベース)	メイン先数 890先 (融資残高 506億円) うち改善先数 628先 (融資残高 386億円)
M&Aマッチング成約先(平成30年度)	5先

経営改善の支援として、第三者機関・専門家・他金融機関・信用保証協会とも連携しながら、条件変更を含め、顧客企業の経営改善に資する取組を実施し、課題を明確にし、顧客と一緒に経営改善計画の策定、フォローアップを実施し、ランクアップに向けて取り組んでいる。また中小企業再生支援協議会との連携を図り、積極的に経営再建計画の策定支援を行うことや、外部コンサルタントと連携し、経営改善が必要な顧客に繋ぐことで、事業再生策の策定を進めている。廃業支援については、専門機関等にも相談しながら、M&Aを活用した支援について模索しており、継続して取組むことでノウハウを蓄積していく。営業店と連携し、M&Aマッチング支援に取り組んでおり、親族内承継、親族外承継、第三者によるM&Aに分けて、顧客の課題に合った支援を進める。

《債務者区分のランクアップ先および不良債権比率の数値目標の公表(H28～H30年度累計実績)》

公表数値目標の内容	目標	実績
不良債権比率(金融再生法に基づく資産査定開示債権)(H31.3)	3.7%	4.2%
事業貸出先全体に対する債務者区分のランクアップ先数	90先	71先
経営改善支援取組先に対する債務者区分のランクアップ先数	15先	19先

(4) 人材育成

基盤産業や成長産業等の支援強化を通じた職員のスキルアップのため、「事業性評価力養成セミナー」を実施。また、融資部、事業支援部講師による短期トレーニー研修を実施し、事業性評価融資の取組み等について全店へ情報共有を図った。

2. 地域の面的再生への積極的参画

地方創生については、行政が運営する会議への出席だけでなく、下記のように当金庫から能動的にプロジェクトを仕掛けるよう働きかけている。

- ・靴業界…学生の知見・感性を活かした商品開発・プロモーション
- ・出石のそば業界…キャッシュレスの提案や滞在時間を延ばすためのメニュー開発支援
- ・湯村温泉…関東方面へのキャラバン(誘客PR活動)

今後は、靴業界については日本財団のわがまち基金を活用したプロジェクトの提案等を行なっている。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

ディスクロージャーおよびホームページに推進計画の進捗状況や地域密着型金融についての取組みについて公表している。また、新たに公式Facebookを開設し、当金庫が実施している取組事例について配信を開始した。また当金庫が四半期毎に実施している但馬地域の事業者を対象とした景気動向調査については、信金中央金庫が実施している全国を対象とした調査結果との比較もおこない、ホームページで四半期ごとに公表している。

以 上